

SP+HER療法（3週毎）

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
デキサメタゾン注	6.6mg	30分	↓																				
パロノセトロン注	0.75mg																						
シスプラチン注	60mg/m ²	2時間	↓																				
トラスツズマブ注	*1	30分																					
S-1	80mg/m ² /day	1日2回 朝夕食後	↓ 夕*2	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
アプレピタント		1日1回*3	125 mg	80 mg	80 mg																		
デキサメタゾン錠	8mg/day	1日1回 朝食後		↓	↓	↓																	

*1：初回は8mg/kg、2回目以降6mg/kg。速度は別途指示あり。

*2：day2の朝～day22夕までの内服でも可能

*3：初日125mgは点滴開始60～90分前、2～3日目80mgは午前中に服用

■副作用への対応

発熱、悪寒（Infusion reaction） ----- 点滴中～投与後24時間以内に発現する。指示された解熱薬を使用する。（トラスツズマブ）

心機能低下 ----- 繰り返し点滴することにより労作時の呼吸困難、下肢浮腫、急激な体重増加などの症状が現れることがあるため、定期的に心エコー検査を行う。（トラスツズマブ）

腎機能障害 ----- 予防のために点滴当日から3日間は1L/日の飲水が必要。（シスプラチン）

手足症候群 ----- 予防のために保湿剤を1日2回以上塗布。市販のハンドクリームや保湿剤で可。（S-1）

悪心嘔吐、食欲不振 ----- 食事が摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。

便秘 ----- 点滴後1週間は便が出にくくなることもあるので、排便記録をつける。便秘薬が処方されている場合は使用する。

下痢 ----- 点滴後2週目以降に便が緩くなることもあるので、排便記録をつける。

口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回（8回/日以上）のうがいをする。

好中球減少 ----- 感染症予防のために、外出後だけでなく自宅でも過ごす時も手洗い・うがいを頻回（8回/日以上）に行う。

流涙 ----- 防腐剤を含まない人工涙液を5～6回/日点眼する。